

SKY コーナー

第50回 東海安全推進大会

—ニューノーマルなこの時代 命の尊さを再確認
心に響け『立ち止まる勇気&基本動作の重要性』—

情報通信エンジニアリング協会 東海支部

1. はじめに

情報通信エンジニアリング協会東海支部の東海安全推進大会は、参加した方がすぐに現場で役立てていただけるよう、十数年余り前の第34回から「参加者全員の体感実施による現場力の向上」をテーマに実施してきました。

今大会は、新型コロナウイルスが猛威を振るうなか、感染拡大を起こさない、クラスターを発生させないことを目的に、残念ながら「参加者全員の体感実施」をあきらめ、ニューノーマル大会と位置づけ、2020年11月10日（火）、オンラインでの実施としました。

大会当日は、NTT西日本東海カンパニー様の社員およびITEA東海支部会員会社の社員等約600名にオンラインで参加していただき、ニューノーマルな安全推進大会として有意義に実施することができまし

た（写真1・2）。

以下に第50回東海安全推進大会の概要について紹介します（表1）。

2. 今大会のポイント

今大会は、オンラインによるリモート開催としたことから「運営面」として以下の2点について変更を行いました。

まず1点目は、NTT西日本東海事業本部様およびITEA東海支部の幹部合計4名が、ソーシャルディスタンスを確保した会議室に集合し、他のNTT東海カンパニー様およびITEA東海支部会員各社の社員は、県域等各エリア事業所にて参加していただくこととしました（写真3）。

2点目は、当日業務の都合でリモート参加できなかった社員に対しては、大会終了後、安全推進大会の様様をオンラインで視聴できる環境を整え、全社員が今大会に参加でき

る仕組みとしました（図1）。

次に「コンテンツ面」では以下の2点の変更を行いました。

まず第一に、従来実施していた全員体感に関しては、コロナウイルス感染の危険性が高いことから実施はせず、全国的に重大な人身事故につながる転落事故に関する映像、特に事故体験者による「事故後の本人・家族の悲惨さ」を表現した、ノンフィクション映像を作成しました。

2点目は、従来はタイムスケジュールの都合上実施していなかった「安全講話」に関して、中央労働災害防止協会の講師による講話を行いました。

3. NTT西日本 取締役 東海事業本部 安部本部長様 へ挨拶

冒頭、安部本部長様より「昨年に引き続き、安全を共に考える機会として本大会をITEA東海支部様と共に



写真1 ニューノーマル安全推進大会



写真2 司会者
(NTTフィールドテクノ東海支店 社員)



写真3 4名のリアル参加者

表1 第50回東海安全推進大会の概要

- 開催日時：2020年11月10日（火） 10：00～12：00
- 主 催：西日本電信電話(株)東海事業本部および（一社）情報通信エンジニアリング協会 東海支部
- 参加人数（リアルタイム）：600名

時 間	項 目
10:00～10:10	開会式 <ul style="list-style-type: none"> NTT西日本 安部 東海事業本部長挨拶 情報通信エンジニアリング協会 玉村 東海支部長挨拶
10:15～10:40	事故再現映像の視聴 <ul style="list-style-type: none"> 安全アーカイブ（2008年9月 転落事故〈富山県〉） 事故経験者による再現映像 <ul style="list-style-type: none"> ①転落事故発生 ②術後のリハビリ期間、事故後の後遺症 ③家族にかかる苦労・負担 ④事故を起したことへの後悔の念
10:45～11:45	安全講話の視聴 <ul style="list-style-type: none"> 講話内容（講話者：中央労働災害防止協会 各務 博幸氏） <ul style="list-style-type: none"> ①安全であることの大切さ ②労働災害の原因と背景 ③人間の特性を踏まえた労働災害防止の取り組み
11:50～11:55	閉会式 <ul style="list-style-type: none"> 安全唱和（NTTフィールドテクノ東海支店社員）

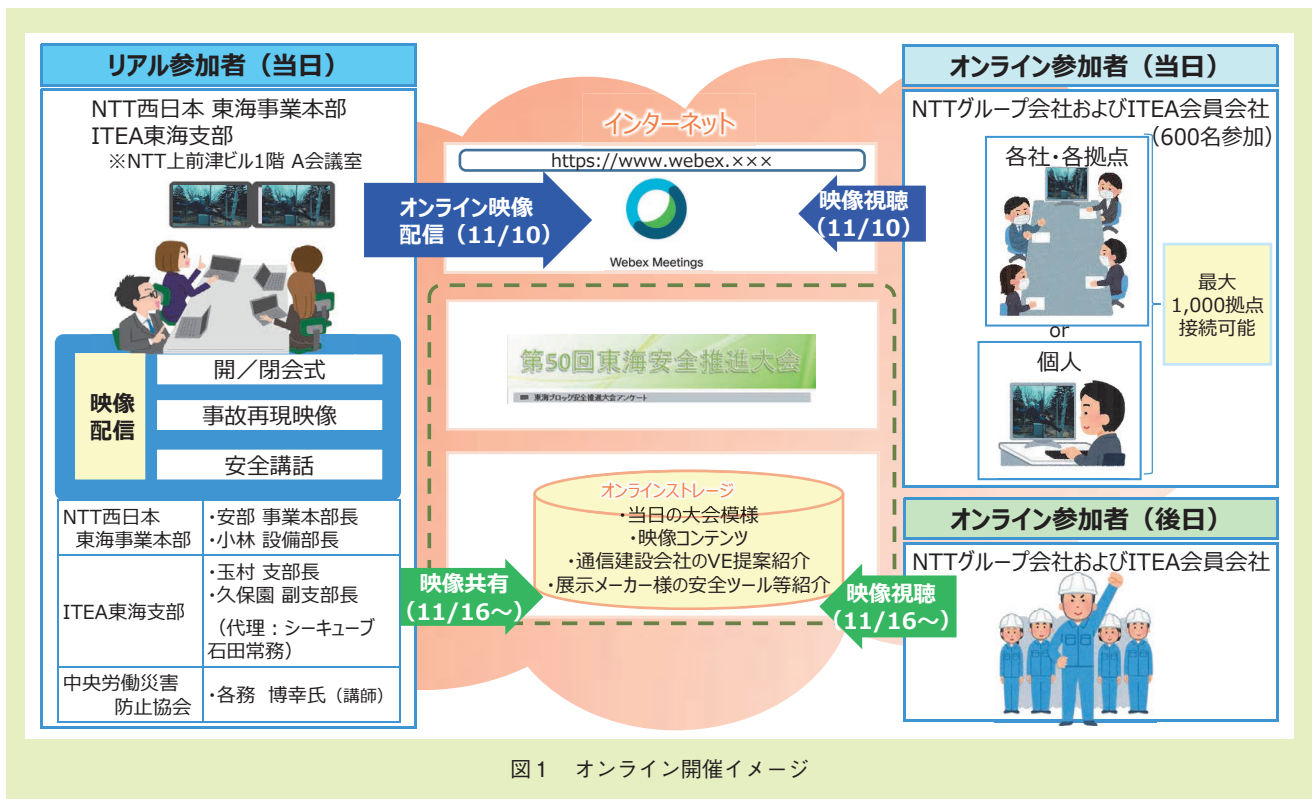


図1 オンライン開催イメージ

同開催できたことを心より感謝します。新型コロナウイルスの感染がまだ収束していない中、NTT関連工事および保守協業など、多大なる協力をいただき厚くお礼申し上げます。

本年度も災害が多く発生しており、「令和2年豪雨」から始まり九

州エリアへ大型台風が接近しました。皆様には東海エリア内の復旧に限らず、九州エリアへの広域災害復旧に対しても多大なるご尽力をいただき重ねてお礼申し上げます。来年度には、延期となっていた2020東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。引き続きご協力をお

願います。

安心・安全・信頼への取り組みを振り返ると、今年度は東海管内において、建物工事で人身事故1件、ネットワーク系で設備事故1件を発生させてしまいました。これ以上の事故を発生させないよう引き続き事故防止に向けた対応を一丸となり取り組



写真4 NTT西日本東海事業本部
安部本部長 ご挨拶

んでいきましょう。今回の東海安全推進大会においては「転落」を1つのテーマとしております。東海管内だけでなく、全国的にも転落事故は多く発生しております。今大会を通じて、事故防止の意識、安全意識の向上を図っていただきたいと考えています。

例年であれば、会場に一同集い、「体感」をメインとした大会を開催するのですが、今年度はコロナ禍のリモート大会となりました。事務局が試行錯誤をしながら、コンテンツを用意しました。本大会を通じて、感じたものを日常業務における危険回避行動や現場の方への指導に役立てていただきたいと考えております。本日はよろしくお祈りします」とのご挨拶をいただきました（写真4）。

4. ITEA東海支部 玉村支部長 ご挨拶

引き続き、情報通信エンジニアリング協会 東海支部 玉村支部長から以下のような挨拶をいただきました。

「新型コロナウイルスが収束しないため多くのイベントが中止される中、今年もNTT西日本グループの皆様方と一緒にこのような安全推進大会が開催できますことを感謝いた



写真5 ITEA東海支部
玉村支部長 挨拶

します。NTT西日本様およびITEA東海支部会員会社の皆様には春先からの新型コロナウイルスが猛威を振るう中、大きなクラスターを発生させることなく、また、猛暑豪雨の中、現場第一線で活躍していただいた皆様方に感謝申し上げます。また、今年の安全推進大会の開催にあたりまして、開催事務局メンバーが知恵を絞り、このようなかたちでオンライン開催する運びになったことを感謝したいと思います。

さて、私ども東海支部管内の通信建設会社における今年度の人身事故・設備事故の状況ではありますが、現在のところ大きなものはございません。これも会員会社の皆様が安全に十分配慮していただいているということで、感謝申し上げます。西日本全体を見ますと、上期に発生した人身事故は昨年を上回る数で発生しています。ぜひ皆様も、過去に発生した転落事故、高所作業車による事故等類似したものを知っていただき今後も事故のないようしていただきたいと思ひます。

昨年の安全推進大会で、「正常性バイアス」のお話をさせていただきました。これは、災害時等の避難において「自分だけは大丈夫。自分は被災するようなことはない」と思い込んでしまう人間の心理です。安全に対しても同様です。「自分はそん

なへまはしない。自分は長年工事をしてきて事故などあったこともない」と思い込んでいないでしょうか。これが「正常性バイアス」という落とし穴なのです。

『Safety First 何よりも安全が第一、自分の命は自分で守る』を再度肝に銘じるとともに、今一度、自分たちの行動を再点検し、基本に立ち返り、業務を実施していただきたいと思ひます。

今、私たち通信建設会社は単に通信用インフラの建設・開通工事という枠組みから高い技術力をベースとし、設計から保守・運用までを、さらにはお客様のICT化をサポートする会社へと変わろうとしています。「高い技術力をベースとしたサービス会社」へ変わろうとしています。作業員1人ひとりのお客様視点に立って「より良い工事、感動していただける工事、保守」に努めそして「さすがNTTのサービス！」と評価をしていただけることを目指し、皆でがんばっていきましょう。

最後になりますが、NTT東海カンパニーの皆様からも引き続き、大所高所の観点から、ご指導、ご鞭撻をお願いしますとともに、本日の開催にご尽力いただいた関係者の方々に感謝申し上げて、私の挨拶とさせていただきます」（写真5）。

5. 提供コンテンツ

■事故経験者の回顧に基づく

再現映像

転落事故の事故経験者の回顧に基づく再現映像では、①転落事故発生と病院への搬送、2度の手術の状況、②術後のリハビリ期間と後遺症の苦しみ、③高額な治療費用と家族の苦しみ、④事故を起こしたことへの後悔の念、をドラマ的に映像化し



写真6 事故経験者の回顧に基づく再現映像（転落時）



写真7 事故経験者の回顧に基づく再現映像（リハビリ時）



写真8 安全講話（1）



写真9 安全講話（2）



写真10 指差し呼称演練
(NTTフィールドテクノ東海支店 社員)

ており、ただ単に、事故の危険性を紹介するビデオとは異なり、多くの社員の心を打ちました（写真6・7）。

■安全講話

中央労働災害防止協会の講師による安全講話の内容については、「安全であることの大切さ」「労働災害の原因と背景」「人間の特性を踏まえた労働災害防止の取り組み」であり、ヒューマンエラーとリスクテイクの人間の二面性を踏まえた取り組みが必要なこと、「リスクチャレンジしてはだめで、その場合リターンは事故だけである」という教訓を人間の錯覚、人間の心理的特性の事例を交えて講演いただき、非常に興味深く聞くことができました（写真8・9）。

■展示メーカー各社様による安全ツール（器具・工具）等の紹介および各通信建設会社によるVE提案の紹介

NTTグループ2社、通信建設会社5社、展示メーカー29社のご協力によりオンラインで視聴することができました。

6. おわりに

今年の大会は、新型コロナウイルスの影響で、従来とは全く異なったオンライン形式で行われましたが、最後は、NTTフィールドテクノ東海支店の若手社員のリードによる指差し呼称演練を実施し、安全推進大会を終了しました（写真10）。

スタッフ全員の努力の甲斐あって、アンケートの結果も90%近くの方が「満足」と回答しており、屋外での全員体感の安全推進大会には及びませんでしたが、大変好評を得ることができました。

なお、当日の様子は2020年11月16日（月）から2021年1月15日（金）までオンラインでアクセス視聴が可能となり、NTT西日本東海カンパニー様、ITEA東海支部の通信建設会社および展示メーカー様も視聴できニューノーマルとしての安全推進大会として、今後の大会に大いに参考になったと考えています。

最後に今大会の準備・運営にご協力賜りました関係各位の皆様へ感謝申し上げます。